

・平成24年9月14日(金)開催分

5 0歳期教育親子教室事業、家庭教育講座事業		票数	提言内容
1 拡充		0	
(1) 対象の拡大		0	
(2) 事業の手法、内容の拡充		0	
(3) 事業費の拡充		0	
(4) その他		0	
2 見直し		4	
(1) 事業の一部廃止		0	
(2) 事業内容、手法の見直し		4	
① 民間委託実施・拡大	1	1	・0歳期教育については、保育所、幼稚園、学校、子育てサークル等と連携し実施する。講座実施は、質の良い事業者、NPOがあれば一部委託しても良いと思う(委託先の一部変更を含む)。
② 指定管理者制度の導入		0	
③ 自主財源確保(受益者負担等)		0	
④ 対象の見直し		3	・「家庭教育講座」は地区公民館だけではなく、全市的な子育て支援団体、サークルなどが実施主体になることができるような検討が必要ではないか。今まで参加のなかった層の参加も期待できる。 ・「家庭教育講座」は、地域の方々の子育てという認識の下、名称変更もしくは事業切り離しを。目的、対象に準じた講座をしてほしいと思います。 ・「家庭教育講座」は、公民館主体での取組となっている。その為、対象をどこに当てるか、内容も検討しないと参加者が少ない。 ・「0歳期教育親子教室事業」は対象を明確にして、事業名称の変更も視野に入れたほうがいいのかもわからない。
⑤ 手段の追加、改善		4	・0歳期教育、家庭教育に関しては、さまざまな講座、イベント等がさまざまな事業団体によって行われている。その中で、市の事業として、生涯学習課として何をポイントにするのか、基本的な部分で再検討が必要である。 ・「家庭教育講座」は公民館が行う広報活動支援等に努めていき、参加者増を図るべき。 ・「家庭教育講座」は、世代間交流事業として扱う方が有効ではないか。方法については、「講座」だけでなくワークショップなども取り入れた方がよい。 ・「家庭教育講座」は、事業内容が拡散している印象であり、参加者も少ない。根本的に見直す(統合、廃止を含む)必要がある。 ・落しどころをもった講座を開催してほしい。 ・複数の課で同様の事業を行っている場合は、統合する必要がある。 ・「社会全体で子どもを守る、育成していく」ということから、「0歳期教育と地域での見守り教育」といった視点からも検討して下さい。
⑥ 設定目標の見直し		0	
⑦ 実施期間の短縮		0	
⑧ その他		0	
3 廃止		2	
(1) 手段が目的化している		0	
(2) 達成手段として不適當		0	
(3) 効果なし(薄い)・逆効果		0	
(4) サービス受給者の自助努力・自己負担		0	
(5) 行政の役割終了、民間実施		0	
(6) その他		2	・「0歳期教育親子教室事業」は子育て支援課の事業として再構築し、直営または保健福祉関連の団体との連携によって実施すべき。親への教育事業そのものは必要。 ・いずれの事業も少額、参加者が少ないまま推移しており、抜本策がない状況。他の事業区分で行うか、地区公民館活動に委ねるべき。

(その他コメント)